

# 全科目でオンライン授業

## 5月11日からスタート



**スマホ受講可能  
オンデマンド型**

オンライン授業にはさまざまなものがあります。が、本学では、次の二つの方法で授業を行います。同時双方向型は、通

新型コロナウイルス感染拡大の中、学生とその保護者・ご家族の皆様にはさまざまなご心配をおかけしております。専修大学では、5月11日から当面、全科目をオンライン等を利用した授業運営を行うと連絡させていただきましたが、それが一体何なのか不安にかられていると思います。そこで、簡単にイメージをお示しします。

### 意欲的に学び、力つけよう

関根純 経営学部長



スマートフォンでも受講ができる

常に近い授業をビデオ会議により行うもので、授業中に皆さんが教員との質疑応答を映像や音声等により行います。学生同士が小グループで討論することもあります。

一方、オンデマンド型は、授業前に講義資料をネットから入手して勉強した後、課題を受け取り、授業中か一定時間後までに文章で回答するものです。質疑応答も授業中にチャット(文章を使った対話)により行います。いずれも、皆さんと教員は教室外にいることになりま。

一見、同時双方向型の方がいいように思えますが、授業を受けられるよ

# 二コース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
☎101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- 国際コミュニケーション学部斎藤達哉学部長に聞く／  
経済・遠山ゼミ 川崎市内中小企業のSDGs調査……………②
- 学校法人専修大学 本年度事業計画・予算……………④
- 【校友を訪ねて】SR渋谷ヘッドコーチ・伊佐勉さん……………⑥
- 石巻専修大学 経営学部情報マネジメント学科来春誕生……………⑦



専修大学の学びの特徴や学部学科の特色、キャンパス情報、就職や資格取得の支援体制、入試情報などを紹介する「2021入学ガイド」を5月下旬から配布します。発行後、本学ホームページでデジタルパンフレットを公開、資料請求もできます。

◆入学センターインフォメーション  
[神田キャンパス] ☎03-3265-6677  
[生田キャンパス] ☎044-911-0794

## 新型コロナウイルス 感染拡大に伴う学生支援策



本学では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、さまざまな学生支援策を講じています。

不安に思うことや悩み、疑問がある学生は、それぞれの相談窓口へご連絡をしてお相談ください。

また、5月11日からのオンライン授業開始にあたってインターネット環境及び機器が整わない学生には補助の用意があります。教科書は専修大学購買会特設サイトで販売していますが、専修大学育友会と校友会からの支援で、5月24日(日)までの期間限定特別措置として、一人1回に限り、宅配便送料及び代引き手数料を無料といたします。

さらに、家計急変など経済的な理由から学業の継続が困難になって

も、皆さんが安心して勉学を継続し無事卒業できるよう、学校法人専修大学では、既存の経済支援奨学生制度に加えて、特別措置による緊急支援奨学金制度を新設し、支援を行うこととしました。

相談窓口や、支援の詳細につきましては、本学ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について」をご確認ください。状況の変化に応じて今後の対応に変更が生じることがありますので、HPやポータルサイトで最新状況を確認するようお願いいたします。

この厳しい状況においても、皆さんが希望をもって学びを深めていくことができますよう、オール専修で支援してまいります。

うにします。パソコンの演習科目のように一部の科目についてはパソコンが必要ですが、それも状況が落ちついたら学内で受けられるようにします。

**マニュアルを整え  
学生の負担軽減**

次にとのようにスマートフォンやパソコンを使用しますが、世の中にはマニユアルを整え、このようなオンライン授業は、これまで一部の科目では実施していましたが、多くの学生や教員は必ずしも慣れておりません。最初はお互い戸惑うこともあるかと思いますが、協力しあって、よりよい方法を模索していきたいと考えておりま

こそ、学生の皆さんには、厳しい状況に負けずに意欲的に勉強し、力をつけていただきたいと考えております。よろしくお願いたします。

(2面に関連記事)



## 知識を深める基地 Knowledge Base



**神田10号館に新図書館**

神田キャンパス10号館13、14階に新しい図書館が完成した。知識を深める基地となるよう「Knowledge Base(ナレッジ・ベース)」と名付けられた。

学生の学修用の基本図書を中心に所蔵し、電子資料の提供も行う。ICタグを取り入れ、書籍を置くだけで貸し出し処理ができる自動貸出機を導入。タブレットやデジタルサイネージで最新の情報に触れることができる一方、閲覧室にはさまざまな座席や机が配置され、落ち着いた雰囲気学修に集中できる。

配架にも工夫を凝らした。日本語だけでなく外国語で書かれた書籍も書架を分けずジャンルごとと並べて配架しているため、関連した書籍を読み比べることができ、学びへの興味がどんどん広がっていく。

(3面に図書館特集)